

<b>経営学基礎</b>		<b>講義</b>	<b>教授 丸山 高行</b>	
<b>科目カテゴリー</b>	<b>国際ビジネス学科の必修科目 教職科目</b>	<b>科目ナンバリング</b>	<b>21200104 25310102</b>	

### 1. 授業のねらい・概要

この科目は、経営学を初めて学ぶ人を対象に、経営および企業活動についての基礎知識が、論理的かつ体系的に身につくことを目標とする。具体的には、会社法をベースに、自ら会社を設立・経営する手順やノウハウのエッセンスを学ぶとともに、経営組織論や経営戦略論、コーポレート・ファイナンス論など、2年次以降の専門科目への興味が深まることを目指す。

### 2. 授業の進め方

毎回の授業は、レジュメ、課題、課題解説動画をオンライン配信することにより行う。具体的には、授業開始時刻に合わせて、Google Classroomにレジュメとレジュメに関連する課題（選択形式で3問程度）を公開する。受講者は、レジュメを熟読するとともに、関連知識を整理した上で、課題の回答をGoogle Classroomにインプットする。一定期間（3日間を予定）経過後、課題の解説動画をGoogle Classroomに配信する。解説動画は、20分～30分程度を予定している。

### 3. 授業計画

1. イントロダクション	9. マーケティング
2. 会社形態と株式会社の本質	10. 会計（財務会計と管理会計）
3. 会社設立の流れ	11. 財務理論（財務諸表分析①）
4. 定款の作り方	12. 財務理論（財務諸表分析②）
5. 株式の発行と引受け	13. 株式の公開・上場
6. 株主の権利と株式会社の機関設計	14. コーポレート・ファイナンス
7. 経営組織	15. 全体のまとめ（コーポレート・ガバナンスと企業の社会的責任）
8. 経営戦略	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

レジュメは、1回の授業につき、パワーポイントのスライド12枚が提供される（経営学基礎全体で180枚）。スライド12枚は、毎回の授業テーマに沿った図表と、図表に関する解説文から構成される。さらに、レジュメには、関連する資料や参考文献へのリンクが貼ってある。受講者は、レジュメの内容を理解し、関連資料や参考文献にもアクセスして必要知識を整理した上で、課題にチャレンジすることになるが、正解を導くためには、最低1時間の学修が必要である。また、課題解説動画の視聴を中心に、毎回、1時間程度の復習を行うことが望ましい。なお、前年度のレジュメ、課題を授業スタート時にGoogle Classroomで公開するので、適宜、予習に役立ててほしい。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

毎回の課題については、上記の通り、Google Classroomに解説動画を配信する。期末試験は、課題（選択形式で3問程度）にレポートの提出を加える形で行う。期末試験についても、終了後、解説動画を配信するので、解答が不十分だったところは直ちに復習しておくこと。

### 6. 授業における学修の到達目標

経営学に関する基礎知識が、論理的かつ体系的に身につくことを目標とする。また、現実の企業活動や決算発表、株式・債券市場の動きなど、ホットな話題にも適宜触れるので、経営学の諸分野について、さらに勉強しようという意欲が高まることを期待する。

### 7. 成績評価の方法・基準

授業への取組み姿勢（20%）および定期試験の結果（80%）によって、評価する。

## 8. テキスト・参考文献

毎回の授業で提示するレジュメが、テキストとなる。また、レジュメの中で、適宜参考文献を紹介する。

## 9. 受講上の留意事項

経済学基礎で学んだ知識を前提に授業を進めるので、しっかり復習しておくこと。また、株式や為替など、金融面の知識を増やすためには、社会科学の基礎A・Bの授業を並行して受講することが望ましい。

## 10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、金融機関における実務経験を活かして指導する。

## 11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。